

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		保育・教育環境の充実

新規事業(5) 拡充事業(26) \*計画にない新規H22(2)・H23(2)

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
意見発表等の機会の充実	「子どもの主張大会」の実施及び特集号の発行	学校教育 社会教育 社会教育・スポーツ推進 こども福祉	H22～26	H23年12月4日(日)田辺中央公民館で実施。作品応募総数1185名。参加者数約300名	H22年12月5日(日)田辺中央公民館で実施。発表者小・中学生12名。作品応募総数921名。参加者数約300名。
16	保育内容の充実(保育所)	こども福祉	H22～26	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った	公立保育所で保育・厨房備品を購入し、充実を図った
	家庭支援推進保育事業( )	こども福祉		公立4保育所に 各1名の保育士配置	公立4保育所に 各1名の保育士配置
	保育所園庭の芝生化	こども福祉		河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた	河原・草内各保育所で、園庭の芝生化を進めた
17	保育所、幼稚園、小・中学校等施設の計画的な改善( )	こども福祉	H22～26	公立4保育所に、新たにチャイルドシートを購入した	保育所 河原保育所の園庭、来客用駐車場と園舎屋根の工事を実施
		教育総務室 学校環境整備		小学校 耐震補強工事に併せて、松井ヶ丘小学校屋内体育館の大規模改修工事を実施した。 三山木小学校増築に伴い、用地測量業務を実施した。 中学校 田辺中学校クラブボックス棟について、改築工事を実施した。 中学校空調設備設置設計業務を実施した。 幼稚園 大住幼稚園、新幼稚園の園庭整備を実施した。 市立幼稚園、小学校、中学校空調設備設置検討業務を実施した。	小学校 耐震補強工事に併せて、田辺小学校南校舎棟(西側)の大規模改修工事を実施した。田辺東小学校について、中校舎棟の改築工事を実施した。 中学校 田辺中学校中校舎棟について、改築工事を実施した。 幼稚園 田辺東幼稚園、三山木幼稚園の園庭整備を実施し、施設の維持管理及び教育環境の改善を図った。
	図書館活動の充実 ・図書の充実 ・手作りの本講習会等 ・障がいのある人への対面朗読等 (再掲2-(1)- )	社会教育 社会教育・スポーツ推進		市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年4回巡回	市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回
	子育てセミナー (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、1-(3)- 、3-(1)- )	社会教育 社会教育・スポーツ推進		家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座) 9月9日 参加者66人 地域子育てセミナー(8小学校)8事業 参加者544人	家庭教育子育てセミナー(中央市民大学公開講座)9月10日参加者44人 地域子育てセミナー(6小学校)7事業 参加者388人
	特色ある園づくり(幼稚園)	学校教育		幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。	幼児が安定した情緒の下で自己を十分に発揮することができるよう発達に必要な体験を得るために「幼稚園キラ・ラ体験事業」を各幼稚園で実施した。
	学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進	特色ある学校づくり ・市研究指定校制度(学校改善) ・社会人講師の活用(地域人材の活用) ・総合的な学習の補助(消耗品の補助) (再掲3-(1)- 、3-(1)- )		学校教育	H22～26
進路指導の充実 ・職場体験学習		学校教育	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	各中学校2年生を対象に全員が体験学習を行った。	

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

国際化・情報化等の社会の変化に対応する教育の推進	国際理解教育の充実 ・AETの活用(外国人による英語授業)	学校教育	H22～26	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。	中学校にAET(英語指導助手)3名を配置し、英語授業の補助、英語クラブ、課外活動への補助などを行うとともに、小学校(1年生～4年生)及び幼稚園にも派遣し、英語活動を行った。また、小学校(5・6年生)にAET1名を配置し、外国語活動を行った。
	情報教育の充実 ・コンピュータ等の機器の充実	学校教育		小・中学校では、コンピュータ室を整備し、合わせて400台を設置している。また、平成22年の国のICT環境整備事業により、89台の大型テレビを幼小中に導入し、平成23年度の市の予算で小・中学校に合わせて57台の大型テレビを導入した。また、平成22、23年度の市の予算で小中学校にデジタル教科書を整備し、大型テレビやコンピュータ等のICT教材を活用した授業を行い、児童生徒の学力向上に寄与している。さらに、校務用パソコンを教職員に100%貸与して、校務の情報化を進め、円滑に事務処理を行っている。	小・中学校ではコンピュータ教室を整備して、合わせて400台を設置した。中学校でもコンピュータ教室の機器の更新を行った。また、国のICT環境整備の事業により89台の大型デジタルテレビを幼小中に導入し、指導の効果を高めるICT活用が進んでいる。校務用パソコンが教職員に100%貸与されており、校務において非常によく活用されている。教職員のICT活用能力も向上し、授業のための資料収集や教材作成、児童生徒の宿題等の作成に広く活用されている。
	情報教育の充実 ・情報モラルやマナーの育成 ・情報通信ネットワークやコンピュータなどを積極的に活用する能力、態度の育成	学校教育		情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。	情報教育コーディネータの派遣により、貸与パソコンをはじめとするICT機器を常時快適に使うことができている。また、教職員の活用の増加に伴い、ソフトの使用法の相談も増えている。夏期講座の開催や校内研修への講師派遣により、教職員のモラルやセキュリティ意識も向上し、児童生徒への指導にも役立っている。

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子育てに関する相談体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成 (区域担当委員、主任児童委員への活動費の助成) (再掲2-(2)- )	社会福祉	H22～26	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。	円滑な民生委員・児童委員の活動ができるよう活動費の助成をした。
	民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)- 、2-(3)- )	社会福祉		地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
児童福祉施設等における相談の実施	保育所における相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉	H22～26	年間1,101人から相談を受けた	年間1,112人から相談を受けた
	児童館における相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(1)- 、2-(3)- )	こども福祉		保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	家庭児童相談室での相談事業(来庁、電話、メール) (再掲1-(2)- 、2-(1)- 、2-(3)- )	こども福祉		ケ-ス対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メ-ル相談回数:1回(1世帯)	延べ1,619人・1,256世帯
	地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉		支援センターでの子育て相談 電話66 来所30 事業実施時224	支援センターでの子育て相談 電話49 来所13 事業実施時57 児童館 保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。
	相談体制の充実等 ・関係職員の研修、技能向上 ・相談対応に当たった関係部署等との連携強化等	こども福祉		相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園・小学校・中学校教諭、留守家庭児童会指導員、ファミリー・サポートセンター、民生児童委員の研修会への参加。 要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。	相談員のほか、母子保健関係保健師、保育士、幼稚園教諭の研修会への参加。要保護児童対策地域協議会、ケース会議を実施する。
	10か月児発達相談 (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉		年12回 対象児:619人 受診者:552人 受診率:89.2%	年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	2歳児発達相談 (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉		年12回 対象児:609人 受診者:521人 受診率:85.6%	年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉		年12回 乳幼児 879人 妊婦0人	年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉		実104人(のべ129人)幼稚園3園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所84人実施	実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業開始 公立3保育所91人実施
転入時アンケート (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(3)- )	こども福祉	転入者341人中 299人回収(87.7%)	転入者346人中 290人回収(83.8%)		
学校等における相談体制の充実	幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(3)- )	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
	小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)- 、2-(1)- 、2-(3)- )	学校教育		教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人	教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		不登校等への対応の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
子どもへの相談支援(カウンセラー等専門家の支援)	児童館における相談事業 (指導員と子どものふれあいの中での間接的な相談、手助け) (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉	H22～26	保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
	家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	こども福祉		ケ-ス対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メ-ル相談回数:1回(1世帯)	延べ1,619人・1,256世帯
	小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)-、2-(1)-、2-(3)-)	学校教育		教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人	教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。
	小・中学校でのカウンセラー等専門家による教育相談 ( ) 臨床心理士等専門家による学校復帰や進学等に対する支援と保護者への相談体制の充実強化 (再掲2-(3)-)	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人
	適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	学校教育		適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数201日、通室延人数485人	適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子どもの健全育成体制の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
教育活動の充実	職員の資質の向上(保育士、幼稚園教諭、小・中学校教職員) ・各種研修会への参加 ・初任者研修等	こども福祉 学校教育	H22～26	年間、延べ224人が受研した 初任者については、年1回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の全教員を対象に年4回研修会と年3回公開保育研修を実施し、資質、指導力の向上に努めた。 小学校1年生に学級運営支援員を配置した(大住小)。	年間、延べ213人が受研した 初任者については、年2回の研究授業及び年2回の研修講座を実施した。また、2年目、3年目については、年1回の研究授業を実施し、指導力の向上に努めている。 幼稚園の教員対象に年3回研修会を開催し、更に年2回幼稚園での保育実習参観を行い、試験交換を図った。 小学校1年生に学級運営支援員を配置した(三山木小、田辺東小、草内小)。
	指導体制の充実とそのための条件整備 ・個に応じたきめこまかな指導	学校教育			
	幼稚園、保育所と小学校の連携の推進	学校教育			
小・中学校の連携強化	小・中学校の連携強化 ・小・中学校合同研修 (授業参観、授業の指導方法の研究等)	学校教育	H22～26	中学校ブロックによる合同研修 1回 / 学期 市教育研究会 1回 / 年	中学校ブロックによる合同研修 1回 / 学期 市教育研究会 1回 / 年
社会体育活動に係る情報提供	広報紙・ホームページ等による情報提供	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、 市教育委員会社会体育課HP等で情報提供を行った	広報京たなべ、学びの情報誌(年4回)、 市教育委員会社会体育課HP等で情報提供を行った
各種スポーツ教室・大会等の実施	市民総合体育大会等 ・市民総合体育大会 ・市民マラソン大会等	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	市民総合体育大会 18種 2690人 市少年交流大会 118人 市マラソン大会 341人 市陸上競技大会 724人 水泳記録会 123人 市民駅伝競走大会 40チーム295人 市小学生ハンドボール大会 49チーム446人 市小学生ハンドボール交流大会 73チーム624人 幼児水泳教室 360人 小学生水泳教室 435人 障害児水泳教室 28人 親子体操教室 50組100人 少年スポーツ教室(中央教室・ハンドボール) 46人 少年スポーツ教室(ハンドボール) 234人 市生涯スポーツフェスティバル2011 4,000人 プール無料開放 こどもの日 185人	市民総合体育大会 18種 1677人 市少年交流大会124人 市マラソン大会 505人 市陸上競技大会532人 水泳記録会111人 市民駅伝競走大会40チーム295人 市小学生ハンドボール大会 49チーム451人 市小学生ハンドボール交流大会 68チーム 606人 幼児水泳教室87人 小学生水泳教室116人 障害児水泳教室6人 親子体操教室50組100人 少年スポーツ教室(中央教室・ハンドボール) 47人 少年スポーツ教室(ハンドボール) 306人 市生涯スポーツフェスティバル2010 3000人 プール無料開放 こどもの日 501人
	スポーツ教室等 ・少年スポーツ教室 ・各種水泳教室等の開催	社会体育 社会教育・スポーツ推進			
	健康体づくり ・京田辺市生涯スポーツフェスティバル等	社会体育 社会教育・スポーツ推進			
スポーツクラブ等の育成	スポーツクラブ等の育成 ・京たなべ・同志社スポーツクラブ(総合型地域スポーツクラブ) の育成	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援	社会教育関係団体等事業補助金要項に従い補助金の支出 各種スポーツ教室開催の広報活動支援
野外活動センターの運営の充実	野外活動センター運営の充実 ・わくわく体験クラブ等 ・野外活動に親しむ日	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	野外活動に親しむ日 245人 夕涼みのつどい 104人 野外活動の集い 533人 わくわく体験クラブ 延べ1,643人	野外活動に親しむ日 255人 夕涼みのつどい 83人 野外活動の集い 281人 わくわく体験クラブのべ1625人
地域組織によるスポーツの推進	地域スポーツ大会開催等 ・地域リーダー研修会 ・スポーツリーダー研修会 ・水泳指導者研修会	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 延べ3,311人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 29人 水泳指導者研修会 31人	市内5地域(大住・田辺・草内・三山木・普賢寺)においてスポーツイベント等の開催 春季・秋季地域スポーツ大会 のべ4076人 地域におけるスポーツリーダーの育成・研修会の開催 のべ66人 水泳指導者研修会 23人
運動公園施設の設備の充実等	運動公園施設の設備の充実等	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	田辺中央体育館を第1期指定管理者制度導入し、田辺公園プールは、第3期指定管理者制度導入した。	中央体育館及び有料公園施設の大規模修繕を行った。 田辺公園プールのリニューアル工事を行った。
青少年関係団体の育成・支援	各種団体の育成・支援 ・京田辺市子ども会 ・京田辺市青年団 ・京田辺市青少年問題連絡協議会 ・京田辺市PTA連絡協議会 等	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	京田辺市青少年問題連絡協議会7月9日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡連絡協議会 10月22日親睦スポーツ大会実施	京田辺市青少年問題連絡協議会7月10日キララフェスティバル会場周辺において青少年健全育成啓発パトロール 夏休み中青少年の生活環境調査及び地域パトロール・青少年生活環境マップ啓発チラシの配布 京田辺市PTA連絡連絡協議会 10月23日親睦スポーツ大会実施

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		創造性を育む体験学習の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
自然の中での体験学習の充実	野外活動のつどい (再掲3-(2)-)	社会体育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	野外活動の集い 553人	野外活動の集い 281人
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲3-(2)-)	社会体育 社会教育・スポーツ推進		野外活動に親しむ日 245人	野外活動に親しむ日 255人
	土曜わくわく体験教室 (再掲3-(2)-)	社会体育 社会教育・スポーツ推進		わくわく体験クラブ 延べ1,643人	わくわく体験クラブのべ1625人
	夕涼みのつどい (再掲3-(2)-)	社会体育 社会教育・スポーツ推進		夕涼みのつどい 104人	夕涼みのつどい 83人
ふるさと体験学習 (小学校区単位で地域の人や学校関係者で体験学習委員会を設置し、年間3～4回の体験活動の機会を提供)	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	9地域委員会 合計65事業 参加者総数 8,563人	9地域委員会 合計67事業 参加者総数 8,794人	
図書館事業の推進	夏休み子どもフェスティバル (手づくり会、人形劇、映画会等)	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	中央図書館 人形劇 約200人 映画会 約100人 ヨーヨーつり 約350人 北部分室 人形劇 79人 手づくり会 82人 ヨーヨーつり 約250人 中部分室 手づくり会 43人 腹話術 55人 英語のおはなし会 54人	中央図書館 人形劇 約290人 絵巻物紙芝居 85人 ヨーヨーつり 約350人 北部分室 腹話術と人形劇 195人 手づくり会 65人 ヨーヨーつり 約180人 中部分室 英語のおはなし会 29人 人形劇 約100人 手づくり会 約30人
	おはなし会 (再掲1-(1)-)	社会教育 社会教育・スポーツ推進		中央図書館 63回 1,108人 北部分室 59回 630人 中部分室 27回 380人	中央図書館 61回 1,176人 北部分室 57回 649人 中部分室 27回 470人
	図書館活動の充実 (再掲2-(1)-)	社会教育 社会教育・スポーツ推進		市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年4回巡回	市内20箇所のステーション(生活圏に図書館がない地域)と留守家庭児童会8学級で実施 20ステーションには2週間に1回、8学級には年5回巡回
国際交流の推進	海外都市等との友好交流 (海外の子どもや留学生などとの交流)	市民参画	H22～26	・チュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:中止 秋期:留学生12名が大住小学校訪問 ・ウラル市との絵画交換、展示 本市368名、ウラル市286名の作品を交換。中央公民館、北部・中部住民センターで展示会を開催。	・チュービンゲン大学同志社日本語センター生の小学校訪問 春期:留学生15名が普賢寺小学校訪問 秋期:留学生11名が桃園小学校訪問 ・ウラル市との絵画交換、展示 本市429名、ウラル市501名の作品を交換。中央公民館、北部・中部住民センターで展示会を開催。
	多文化交流の機会づくり・情報提供	市民参画		・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業	・国際交流員採用事業 市ホームページ英語版の充実、国際交流員主催事業の開催(保育のつどいへの参加など)、区・自治会や保育所等への派遣事業
	国際交流体験の支援(ホームステイ受け入れや海外での交流体験などを支援する)	市民参画		・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受け入れなど)3件 Bタイプ(海外留学など)24件	・京田辺市国際交流体験補助金の交付 Aタイプ(ホームステイ受け入れなど)28件 Bタイプ(海外留学など)36件

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-6)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子どもの居場所づくりの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	22年度実績	
児童館事業の推進	なかよしクラブ(各児童館:小・中・高校生対象)	こども福祉	H22~26	延べ利用者数 12,302人	延べ利用者数 9,752人
豊かな人間性を育む教育の推進	適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)-、2-(3)-)	学校教育	H22~26	適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数201日、通室延人数485人	適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人
子どもの居場所づくりの推進	子どもの居場所づくりの推進 (再掲3-(1)-)	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22~26	新規2地域開設。42区・自治会のうち13箇所継続実施。	新規開設地域は、なかった。42区・自治会のうち14箇所継続実施。
14 放課後子どもプランの充実 ( )	放課後子どもプラン( ) (再掲1-(3)-)	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22~26	年間実施日数 85日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,789人	年間実施日数 87日 野外活動センターと市内全9小学校で実施 子どもの参加延べ人数3,677人

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-1-7)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(1)	心身を健やかに育む子育て環境の充実
基本施策分野		子育てに伴う経済的支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
4 19 各種手当の支給による支援( )	高等学校奨学金(府制度) ・奨学金により支援を行う (生活保護・ひとり親・市民税非課税世帯)	こども福祉 社会福祉	H22～26	申請者17名 公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。	申請者18名 公立以外の高校に進学する生活保護受給世帯について、府の奨学金が利用できるよう支援を行った。
	子ども手当( )	こども福祉		支給児童 延べ113,844人 支給総額 1,410,183,000円 児童数 9,180人 受給者数 5,417人	支給児童 延べ93,464人 支給総額 1,215,032,000円 児童数(中学3年生まで対象拡大) 9,600人 受給者数 5,660人
	児童手当	こども福祉		子ども手当に制度変更	支給児童 延べ13,248人 支給総額 86,520,000円 児童数 6,523人 受給者数 4,016人
	児童扶養手当( ) (再掲2-(2)- )	こども福祉		支給実人員:415名(内 父子26名) 総支給額:193,239,120円	平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	母子家庭奨学金 (府制度:広報、申請書配布、進達事務) (再掲2-(2)- )	こども福祉		申請者483名	申請者471名
	交通遺児奨学金 (府制度:広報、申請書配布) (再掲2-(2)- )	こども福祉		申請者4名(児童数5名)	申請者3名(児童数4名)
	市特別児童福祉手当 (再掲2-(2)- )	こども福祉		支給実人員415名 総支給額13,497,800円	支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	特別児童扶養手当 (国制度、府による認定・支給事務:市は進達事務) (再掲2-(2)- )	こども福祉		受給者数:105名	受給者数:101名
市心身障害児童特別手当 (再掲2-(2)- )	こども福祉	支給実人員:131名 総支給額:3,724,800円	支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円		
4 子育て支援医療費の助成( )	子どもの医療費の助成( ) (再掲1-(1)- )	こども福祉	H22～26	入院:654件 28,633千円 入院外:97,244件 144,556千円	入院は中学生まで、入院外は小学3年生まで対象年齢を拡大。 入院:652件 26,370千円 入院外:87,042件 126,324千円
不妊治療費助成	不妊治療費助成事業 (再掲1-(1)- )	こども福祉	H22～26	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ186人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ46人	不妊治療保険適応分(市助成分) のべ86人 特定不妊治療(京都府助成分) のべ30人
保育・教育費用の負担軽減	保育所保育料の軽減 (生活保護・ひとり親世帯等)	こども福祉	H22～26	対象95人に保育料の減免	対象67人に保育料の減免
	幼稚園就園奨励事業 ・私立幼稚園就園奨励費補助金 ・市立幼稚園保育料減免	学校教育		京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者399人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園20園に補助を実施した。実績36,698,500円。 市立幼稚園在園保護者延べ17人に対して512,000円の減免措置を実施した。	京田辺市在住の私立幼稚園児の保護者374人に対して保育料の減免事業を行った私立幼稚園19園に補助を実施した。実績32,658,900円。 市立幼稚園在園保護者延べ18人に対して518,000円の減免措置を実施した。
	各種援助・補助金による保護者負担の軽減 ・修学旅行費 ・就学援助費 ・特別支援教育就学奨励費 (再掲2-(2)- )	学校教育		市立小学校児童507人及び中学校生徒614人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額 小学校3,549千円、中学校9,210千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,655千円、中学校1,999千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校679人 39,361千円、中学校346人 15,979千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校19人 587千円、中学校10人 325千円。	市立小学校児童580人及び中学校生徒425人の保護者に対して修学旅行の補助を行った。実績額小学校4,060千円、中学校6,375千円。小学校・中学校保護者が負担する学級費を負担(学級消耗品費)。小学校4,617千円、中学校1,848千円を各学校に配分した。 ・就学援助費 小学校590人 37,425千円、中学校276人、12,831千円。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。
	留守家庭児童会負担金の減免	社会教育 社会教育・スポーツ推進		生活保護世帯の負担金を全額免除	生活保護世帯の負担金を全額免除

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-2-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		子どもの権利に関する啓発

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
人権意識の高揚	人権問題研修会	人権啓発推進	H22～26	1回実施(他2回は当該テーマ以外で実施)252人参加 『児童虐待の現場から見える社会～よりよい子育て環境をつくるために～』津崎哲郎(花園大)	該当のテーマは未実施
	わくわくワークショップ	人権啓発推進		該当のテーマは未実施	該当のテーマは未実施
	広報紙、啓発冊子等による啓発	人権啓発推進		『人権を考える情報紙』を8月、1月に市内全戸配布。 8月配布分に人権教育に関する記事『子どもたちは、家庭、地域、学校で連れだって育つ』を掲	『人権を考える情報紙』を8月、1月に市内全戸配布も、該当テーマの記事は無し
	ヒューマン映画上映会	人権啓発推進		1回実施、88人参加 映画『手のひらの幸せ』 天涯孤独となった兄弟ふたりが、周りの大人達に支えられながら成長していく作品	該当のテーマは未実施
子どもの権利、児童福祉の理念の周知	『児童福祉週間』の実施	こども福祉	H22～26	4月28日～5月28日に週間を設置し、各種事業に述べ1,088人参加	4月23日～5月29日に週間を設置し、各種事業に述べ1,085人参加
	通常保育での充実 (価値観の違いを認める意識の醸成)	こども福祉		障がいのある児童の受け入れ	障がいのある児童の受け入れ
人権教育の充実	研修会 ・ハートフルフェスタ、幼児、小・中学生の作品展示等 ・人権に係る学習会	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22～26	人権教育研究会 8月23日 参加者300名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座) 8月19日 参加者70名 京田辺市ハートフルフェスタ 12月3日 参加者220人 人権に係る作品展示 314点 子どもの人権に関する映画鑑賞 12月17日 参加者43人	人権教育研究会8月24日参加者250名 人権教育指導者研修会(市民大学公開講座)8月6日参加者50名 留守家庭児童会指導員人権問題学習会2月9日参加者56人 京田辺市ハートフルフェスタ12月4日参加者110人 人権に係る作品展示205点 子どもの人権に関する映画鑑賞 12月18日参加者33人

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-2-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		障がい児施策等の充実

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
京田辺市障害福祉計画	各種障がい福祉サービスの給付 ・訪問系サービス ・日中活動系サービス ・居住系サービス ・補装具費支給事業	障害福祉	H22～26	居宅介護:利用者10名・利用時間 4983.5時間 行動援護:利用者9名・利用時間時間 2758.5時間 短期入所:利用者 18名・利用時間491時間 353日 補装具:購入 16件・修理44件 15件 日常生活用具:61件	居宅介護:利用者14名・利用時間4,612時間 行動援護:利用者10名・利用時間2,610.5時間 短期入所:利用者19名・利用時間491時間 補装具:購入24件・修理11件 日常生活用具:68件
	地域生活支援事業 ・相談支援事業 ・移動支援事業 ・日中一時支援事業	障害福祉	H22～26	・相談支援事業(利用延べ件数8,390件。うち児童利用延べ件数270件) 移動支援事業:利用者71名・利用時間9,725時間 日中一時支援事業:利用者39名(実人数)・利用時間4,431時間	・相談支援事業(利用延べ件数10,020件。うち児童利用延べ件数469件) 移動支援事業:利用者53名・利用時間9199.5時間 日中一時支援事業:利用者413名(のべ)・利用時間9199.5時間
自立支援医療給付事業の推進	自立支援医療給付事業の推進 (再掲1-(1)- )	障害福祉	H22～26	自立支援医療(精神通院)受給者 33名	自立支援医療(精神通院)受給者 37名
各種手当等の支給による支援	特別障害者手当	障害福祉	H22～26	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。36人(児童)に支給。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校19人 587千円、中学校10人 325千円。 受給者数:105名	在宅の重度障害児・者の負担軽減を図るため、福祉手当の給付を行った。35人(児童)に支給。 ・特別支援教育就学奨励金 小学校18人 528千円、中学校9人、229千円。 受給者数:101名
	各種援助・補助金による保護者負担の軽減	学校教育			
	特別児童扶養手当 (再掲2-(1)- )	子ども福祉			
発達相談指導員による発達相談	市心身障害児童特別手当 (再掲2-(1)- )	子ども福祉	H22～26	支給実人員:131名 総支給額:3,724,800円 実104人(のべ129人)幼稚園3園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業を開始 公立3保育所84人実施	支給実人員:119名 総支給額:3,259,200円 実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業の開始 公立3保育所91人実施
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)-、1-(2)-、2-(1)-、2-(3)- )	子ども福祉	H22～26	41人	40人
障がい児保育・教育等の推進	障がい児保育の実施 (保育所での保育に欠ける障がいのある児童の受入れ)	子ども福祉	H22～26	31件(のべ43回)	34件
	障がいのある児童の訪問 (再掲1-(1)- )	子ども福祉		年間89人が利用した(実人数)	年間65人が利用した(実人数)
	児童デイサービス事業	子ども福祉		学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。 (H23.7.23～H23.8.27のうち10日実施。)	学校の夏休み期間を利用して行われる社会福祉協議会の事業に対し支援等を行った。10日実施。総参加者384人(うち対象者総数110人、ボランティア等総数73人)
	サマースクール事業への支援	障害福祉		保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円	保・幼・小・中学校と特別支援学校及び関係機関との連携を密にし、障害のある幼児、児童及び生徒の発達状況等を的確に把握し、個に応じた適切な就・修学指導と進路指導の充実に努めた。補助金額198千円
	就学指導委員会活動の充実	学校教育		京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金額34千円	京田辺市特別支援担当者会議を年2回開催し、研修及び情報交換をした。また市独自の巡回相談員を任命し、要望のある幼・小・中学校へ相談のための巡回をした。17年度から保・幼・小・中の連携をしている。補助金34千円
	特別支援教育の推進	学校教育		耐震補強工事に併せて、福祉のまちづくり条例に基づき松井ヶ丘小学校屋内体育館のバリアフリー化を行った。	未実施
学校施設のバリアフリー化	学校施設のバリアフリー化 (小・中学校への障がいのある児童の受け入れに当たり、施設のバリアフリー化を図る)	教育総務 学校環境整備	H22～26	8児童会・16学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数524人。障がいのある児童を含め希望者全員受入。	8児童会・14学級を開設・受入学年1年生から4年生まで受入人数502人。希望者全員受入。
留守家庭児童会の充実	留守家庭児童会での障がいのある児童の受入れ	社会教育 社会教育・スポーツ推進	H22～26		

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-2-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		ひとり親家庭への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
民生児童委員・主任児童委員への活動支援	京田辺市民生児童委員協議会への活動費の助成(再掲2-(1)-)	社会福祉	H22~26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。
母子家庭医療費助成事業	母子家庭医療費助成事業(再掲1-(1)-)	国保医療	H22~26	平成23年度給付実績 12,622件 35,045千円	平成22年度給付実績 11,936件 32,353千円
ひとり親家庭の日常生活支援	母子自立支援員等によるひとり親家庭への相談支援	こども福祉		自立支援員未設置	自立支援員未設置
	母子家庭日常生活支援事業(府制度)	こども福祉	H22~26	府制度周知	府制度周知
	母子世帯府営住宅優先入居(府制度)	こども福祉		1世帯入居	1世帯入居
19 各種手当の支給による支援	児童扶養手当( ) (再掲2-(1)-)	こども福祉	H22~26	支給実人員:415名(内 父子26名) 総支給額:193,239,120円	平成22年8月より父子家庭も対象となる。 支給実人員:398名(内 父子:24名) 総支給額:178,521,000円(内 父子:2,856,840円)
	市特別児童福祉手当 (再掲2-(1)-)	こども福祉		支給実人員415名 総支給額13,497,800円	支給実人員:457名 総支給額:12,870,000円
	母子家庭奨学金 (再掲2-(1)-)	こども福祉		申請者483名	申請者471名
	交通遺児奨学金 (再掲2-(1)-)	こども福祉		申請者4名(児童数5名)	申請者3名(児童数4名)
ひとり親家庭の交流促進	ひとり親家庭新入学児童を祝い励ます会の開催	こども福祉	H22~26	新入学児童を祝い励ます会に参加者5世帯。 ひとり親家庭新入学児童28名にランリュックを贈呈	新入学児童を祝い励ます会に参加者10名。 ひとり親家庭新入学児童35名にランリュックを贈呈
	京田辺母子会活動の支援 ・母子家庭交流事業支援等	こども福祉		会員数93人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った	会員数85人 補助金の支給73,000円 各催しでの社会福祉協議会・民生委員協議会との連携で支援を行った
職業技能訓練給付事業	高等技能訓練促進給付事業	こども福祉	H22~26	受給者7名	受給者2名
	自立支援教育訓練給付事業	こども福祉		受給者1名	受給者2名
ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センターにおける優先利用	こども福祉	H22~26	ひとり親家庭の優先利用は未実施であるが、希望利用者は全員利用できている。	ひとり親家庭の優先利用は未実施であるが、希望利用者は全員利用できている。
女性相談・男性相談	女性の相談室 (再掲1-(3)-、2-(3)-)	市民参画	H22~26	・専門相談 毎月第1・3木曜日22回50件相談 ・出張相談 年8回、12件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 125件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 25件相談 ・再就職・チャレンジ相談 1回 (2件相談)	・専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 ・出張相談 年7回、17件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 (再就職・チャレンジ相談2件、母子自立相談5件)
	男性相談 (再掲1-(3)-、2-(3)-)	市民参画		・男性のための電話相談(6/28、10/25、2/28の3回、午後7時～9時) 相談件数 2件	・男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数2件

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-2-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(2)	子どもの人権擁護の推進
基本施策分野		外国人家庭や帰国子女への支援

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
世界に開かれたまちづくりの推進	サポート体制の充実 (市内在住外国人等への情報提供等)	市民参画	H22～26	京田辺市生活ガイドブックについて、市内留学生から意見を募集し、修正。 市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載 発行:英語2冊 スペイン語 1冊	京田辺市生活ガイドブックの作成(日本語版、英語版)、市役所、同志社大学多々羅キャンパス京田辺まちの情報コーナー等に配架、ホームページに掲載 発行:英語1冊 中国語 1冊
	外国語母子健康手帳の交付 (再掲1-(2)-)	こども福祉			

## 展開する事業群(2-3-1)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野	1	虐待防止のネットワークの推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
要保護児童対策地域協議会の機能強化	代表者会議の充実	こども福祉	H22～26	年間2回開催	年間2回開催
	実務者会議の充実	こども福祉		実務者会議 5回	実務者会議 5回
	個別ケース検討会議の充実 (情報交換、支援内容の協議等)	こども福祉		個別ケース検討会議 のべ56回 保育所(園)・小学校・中学校等訪問による個別ケース検討会議 のべ43回	のべ109件(44件)
虐待通告の対応体制の強化	市民よりの通告の対応体制の強化	こども福祉	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 4000枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 子どもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 子どもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成
	関係機関よりの通告の対応体制の強化	こども福祉		家庭児童相談室専用電話の設置	家庭児童相談室専用電話の設置
他機関との連携による見守り体制強化	他機関との連携による見守り体制の強化	こども福祉	H22～26	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、ケース会議も随時開催する。 保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施。	要保護児童対策地域協議会(代表者会議 年2回、実務者会議年5回)、ケース会議も随時開催する 警察より、泣き声通告、DV関係での報告増える。
	児童相談所への援助依頼・送致	こども福祉		児相関与ケース33人(25世帯) 援助依頼 8人(5世帯) 送致 0人 一時保護 1人(1世帯) 施設入所 1人(1世帯)	児相関与ケース36人(21世帯) 援助依頼 7人(5世帯) 送致 0人 一時保護 3人(2世帯) 施設入所 1人(1世帯)
	警察との連携による緊急対応	こども福祉		警察からのケース連絡 3件 (内訳DV3件)	警察からのケース連絡 11件 (内訳DV4件 近隣通告 4件 家庭内3)

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-3-2)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		相談事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
各種健診における相談	3か月児健康診査 (再掲1-(1)- )	こども福祉	H22～26	年24回 対象児:584人 受診者:576人 受診率:98.6%	年24回 対象児:558人 受診者:555人 受診率:99.5%
	1歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)- )	こども福祉		年12回 対象児:589人 受診者:557人 受診率:94.6%	年12回 対象児:623人 受診者:583人 受診率:93.9%
	3歳6か月児健康診査 (再掲1-(1)- )	こども福祉		年12回 対象児:687人 受診者:618人 受診率:90.0%	年12回 対象児:704人 受診者:609人 受診率:86.9%
各種発達相談における相談	10か月児発達相談 (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(1)- )	こども福祉	H22～26	年12回 対象児:619人 受診者:552人 受診率:89.2%	年12回 対象児:537人 受診者:513人 受診率:95.5%
	2歳児発達相談 (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(1)- )	こども福祉		年12回 対象児:609人 受診者:521人 受診率:85.6%	年12回 対象児:673人 受診者:590人 受診率:87.7%
	乳幼児相談・赤ちゃんサロン (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(1)- )	こども福祉		年12回 乳幼児 879人 妊婦0人	年12回 乳幼児 871人 妊婦0人
	発達相談指導員による発達相談 (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(1)- 、2-(2)- )	こども福祉		実104人(のべ129人)幼稚園・私立保育園3回 巡回発達相談 年中児発達サポート事業 公立3保育所84人実施	実88人(のべ106人)幼稚園9園 巡回発達相談 年中児発達サポート事業を開始 公立3保育所91人実施
	転入時アンケート (再掲1-(1)- 、1-(2)- 、2-(1)- )	こども福祉		転入者341人中 299人回収(87.7%)	転入者346人中 290人回収(83.8%)
家庭児童相談室での相談	家庭児童相談室での相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(1)- 、2-(1)- )	こども福祉	H22～26	ケ-ス対応件数 養護相談:児童虐待相談 108件 :親の疾患・家庭環境の養護相談 55件 保健・障がい・非行・育成等相談 27件 来庁面接相談回数:78回(37世帯) 家庭訪問回数:94回(27世帯) 電話相談回数:7回(7世帯) メ-ル相談回数:1回(1世帯)	延べ1,619人・1,256世帯
地域子育て支援センター等での相談	地域子育て支援センター等での子育て相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(1)- )	こども福祉	H22～26	支援センターでの子育て相談 電話62 来所3 事業実施時224	支援センターでの子育て相談 電話49 来所13 事業実施時57 児童館 保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
保育所における相談事業	保育所における相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(1)- )	こども福祉	H22～26	年間1,101人から相談を受けた	年間1,112人から相談を受けた
児童館における相談事業	児童館における相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(1)- 、2-(1)- )	こども福祉	H22～26	保護者からの相談件数 164件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。	保護者からの相談件数 181件 発達・しつけ・遊びなど子育て全般について相談を受ける。 日常の会話の中での相談についての件数は含んでいない。
幼稚園での相談事業	幼稚園での相談事業 (再掲1-(2)- 、2-(1)- )	学校教育	H22～26	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。	在園中の保護者に対しては、各幼稚園で随時行っている。 次年度入園予定児及びその保護者を対象に親子なかよし学級を開設し、その中で子育てに関する相談に応じている。
学校における相談( )	小・中学校での教育相談 (再掲1-(2)- 、2-(1)- 、2-(1)- )	学校教育	H22～26	教育相談 ・小学校(市事業) 実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人	教育相談 ・相談実施回数99回(各校11回×9校)、相談件数総数428件 ・草内小学校にキラサポーターを配置し、不登校傾向にある児童の学習支援や教育相談を行い、不登校の未然防止と早期解決を図った。
	小・中学校でのカウンセラ-等専門家による教育相談 ( ) (再掲2-(1)- )	学校教育		小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数327件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ88件、相談人数 延べ694人	小・中学校で教育相談を実施し、精神衛生面での支援や不登校生徒・保護者への支援、学校に対するコンサルテーション機能を果たしている。 ・小学校(市事業) 実施回数99回、相談件数428件 ・中学校(府事業) 相談件数 延べ67件、相談人数 延べ491人
	適応指導教室(ポットラック)の充実 (再掲2-(1)- 、2-(1)- )	学校教育		適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数201日、通室延人数485人	適応指導教室充実事業 精神的に不安定な通室生徒への適切な対応を図るため、精神病理の専門家をスーパーバイザーとして招き、カンファレンスを実施した。 年間開室日数 201日 通室延人数 493人
民生児童委員・主任児童委員による相談	民生児童委員・主任児童委員による相談 (再掲1-(2)- 、2-(1)- )	社会福祉	H22～26	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。	地域の中で相談援助活動を行っている民生委員・児童委員に対して、円滑な活動が実施できるよう、研修等による支援を行った。

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

女性相談・男性相談	女性の相談室 (再掲1-(3)-、2-(2)-)	市民参画	H22～26	・専門相談 毎月第1・3木曜日22回50件相談 ・出張相談 年8回、12件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 125件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回 25件相談 ・再就職・チャレンジ相談 1回 2件相談	・専門相談 毎月第1・3木曜日24回58件相談 ・出張相談 年7回、17件相談 ・一般相談 毎週月～金曜日 101件相談 ・法律相談 毎月第4水曜日12回、32件相談 ・再就職・チャレンジ相談及び母子家庭等自立支援相談 1回 チャレンジ相談2件、母子自立相談5件
	男性相談 (再掲1-(3)-、2-(2)-)	市民参画		・男性のための電話相談(6/28、10/25、2/28の3回、午後7時～9時) 相談件数 2件	・男性のための電話相談実施(6/1、10/5、2/3の3回、午後7時～9時) 相談件数 2件相談

## 展開する事業群(2-3-3)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		訪問事業の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
保健師等による訪問	こんにちは赤ちゃん事業 (再掲1-(1)-)	こども福祉	H22～26	対象児:580人 受診者:538人(里帰り含む) 受診率:92.8%	対象児:560人 受診者:522人(里帰り含む) 受診率:93.2%
	養育支援訪問事業 (再掲1-(1)-)	こども福祉		63件(全数訪問)	42件(全数訪問)
	幼稚園、保育所への訪問	こども福祉		年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立 保育所にて実施 84人 巡回支援6回 集団観察 3回 幼稚園については、健診後経観察のために、公立園・私立保育園3回、市外幼稚園にも必要時訪問している。	年中児発達サポート事業(育なびサポート事業)として、公立3保育所にて開始 91人 巡回支援6回 集団観察3回 幼稚園については、健診後経観察のために、公立園9園、市外幼稚園にも必要時訪問している。
家庭相談員による訪問	妊婦への訪問	こども福祉	H22～26	1人1世帯	1人1世帯
	要保護児童家庭への訪問	こども福祉		94回・27世帯	29人・17世帯
	施設退所後のフォロー訪問	こども福祉		0件	0件
ヘルパーによる訪問( )	ヘルパーによる訪問( ) ・家事援助訪問 ・育児援助訪問	こども福祉	H22～26	産後ヘルパー派遣 7人 (のべ17人)	産後ヘルパー派遣 10人 (のべ23人)

20

# 平成23年度京田辺市次世代育成支援行動計画(後期)実績報告

## 展開する事業群(2-3-4)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		意識啓発の推進

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
5 市民に対する広報・啓発( )	ホームページの充実 (再掲1-(2)-、1-(2)- )	こども福祉	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを掲載。児童虐待防止月間の取り組みを掲載	「STOP!子ども虐待」リーフレットを掲載。児童虐待防止月間の取り組みを掲載
	パンフレットの配布( ) (再掲1-(2)-、1-(2)- )	こども福祉		「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 2900枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 子どもSOSカード 小学3年生に配布 709枚、随時 相談啓発カード配布 随時 関連事業HPに掲載 広報京たなベシリ - ズ連載(10・11・12月号)	「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 子どもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成
子育て関係者等に対する啓発	子育て関係者に対するパンフレット等の配布 (再掲1-(2)-、1-(2)- )	こども福祉	H22～26	「STOP!子ども虐待」リーフレットを街頭啓発・産業祭にて配布 4000枚 子ども虐待予防啓発チラシ配布(講演会のチラシの裏面) 13000枚 子どもSOSカード 随時 相談啓発カード配布 随時 児童虐待対応マニュアル配布 随時	「STOP!子ども虐待」リーフレット全戸配布 26000枚 児童虐待対応マニュアル作成、配布 2000冊 子どもSOSカード 10000枚作成 相談啓発カード 5000枚作成

## 展開する事業群(2-3-5)

基本目標	2	子どもが笑顔にあふれ、健やかに育つ環境づくり
施策目標	(3)	子どもの虐待防止対策の推進
基本施策分野		虐待防止のための体制整備

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	23年度実績	22年度実績
3 研修の充実	研修の充実 ・講演会の開催 ・専門的研修の実施	こども福祉	H22～26	子ども虐待防止市民講演会11月25日 132名参加 保育所、幼稚園、小学校、中学校、留守家庭児童会、ファミリー・サポート・センター、民生児童委員等を対象に研修会を実施 8回 661名	子ども虐待防止市民講演会11月17日 121名参加 保育士研修会 12月9日101名
3 子育て短期支援事業( )	ショートステイ事業( ) (再掲1-(3)- )	こども福祉	H22～26	未実施	未実施
集団生活における支援	集団生活における支援 ・学校との連携及び支援 ・幼稚園との連携及び支援 ・保育所との連携及び支援	こども福祉	H22～26	保育所・幼稚園・小中学校との定期的な情報提供の実施 保育所(園)・小学校・中学校等訪問による個別ケース検討会議 のべ43回	要保護児童の状況を確認、ケース会議の実施